

目次

1. アンケート調査実施概要	1
2. アンケート調査結果概要	2
総括	2
I. 景気動向	3
II. 業績	5
III. 設備投資	7
IV. その他（北陸新幹線の金沢開業）	9
参考（アンケート調査結果）	11
I. 景気動向	11
II. 業績	14
III. 設備投資	17
IV. その他（北陸新幹線の金沢開業）	21

1. アンケート調査実施概要

○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を的確、迅速に把握し、その結果を報告するとともに、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で31回目]

○調査時期

平成26年2月24日～3月6日

○調査対象

北陸経済連合会会員企業

○回収率

回答率63.8%（送付企業298社、回収数190社）

○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	68	35.8%
石川県	62	32.6%
福井県	22	11.6%
北陸三県以外	38	20.0%
計	190	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	61	32.1%
1億円～10億円未満	48	25.3%
10億円以上	81	42.6%
計	190	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

【規模別】

- 大企業：資本金10億円以上
- 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
- 中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製 造 業	食料品製造業	2	1.1%
	繊維工業	3	1.6%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.5%
	出版・印刷・同関連業	4	2.1%
	化学工業	6	3.2%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	5	2.6%
	金属製品製造業	6	3.2%
	機械工業	10	5.3%
	その他製造業	26	13.7%
	非 製 造 業	卸売業	17
小売業		4	2.1%
建設業		33	17.4%
電気・ガス・水道業		5	2.6%
運輸業		12	6.3%
農・林・漁業		0	0.0%
鉱業		0	0.0%
金融業・保険業		18	9.5%
不動産		2	1.1%
サービス業		26	13.7%
その他の非製造業	10	5.3%	
計		190	100.0%

	業種	回収数	割合
製造業		63	33.2%
非製造業		127	66.8%
計		190	100.0%

2. アンケート調査結果概要

〔総括〕

北陸の景気動向 ……足もとは全体として回復基調にあるものの、26年度上期は景気減速を懸念する企業が増加

- ・現在の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみている企業が8割以上(84.2%)ある一方、「底這い」「下降」とみている企業(12.7%)が前回調査(21.1%)を大きく下回っており、全体として回復基調にある。
- ・25年度下期の景気について、景気判断BSI(「良い」と答えた割合から「悪い」を引いた値)でみると、64.3(前回51.3)と改善しており、景気は良くなっているとみている企業が大幅に増加した。
また、来期(26年度上期)の見通しについては13.1と、今期(64.3)からの大幅な減少を見込んでいる。
- ・現在の景気が「底這い」「下降」とした企業については、約6割(58.4%)の企業が27年度上期までには回復に転じるとみている。

業績 ……足もとは中小企業にも改善の動き、26年度上期は悪化を見込む企業が増加

- ・現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が36.3%(前回28.1%)、「悪い」「大変悪い」とみている企業が18.4%(前回17.9%)と、改善の動きがみられる。
- ・25年度下期の業績について、業績判断BSI(「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値)でみると、今期は39.9と、前回調査(25年度上期)の28.1からプラス幅が広がっている。また、規模別でみると、中小企業が42.7(前回15.5)と、業績が改善したとする企業が大幅に増加している。
- ・来期(26年度上期)の見通しについては2.0と、悪化を見込む企業が増加している。
- ・経営上の課題では、「人材養成・確保」(63.2%)が最も多く、次いで「国内販売力の強化」(56.8%)となっている。

設備投資 ……設備水準は適正に近づきつつも、全体として25年度に引き続き増加傾向にある

- ・現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が74.7%で、前回調査(66.5%)から増加し、7割以上を占めた。
- ・設備投資(前年対比)について、25年度は「増加した」と答えた企業(23.2%)が「減少した」と答えた企業(14.7%)を上回った。26年度見込みについても、「増加する」と答えた企業(30.0%)が「減少する」と答えた企業(13.7%)を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。

その他

【北陸新幹線金沢開業について】

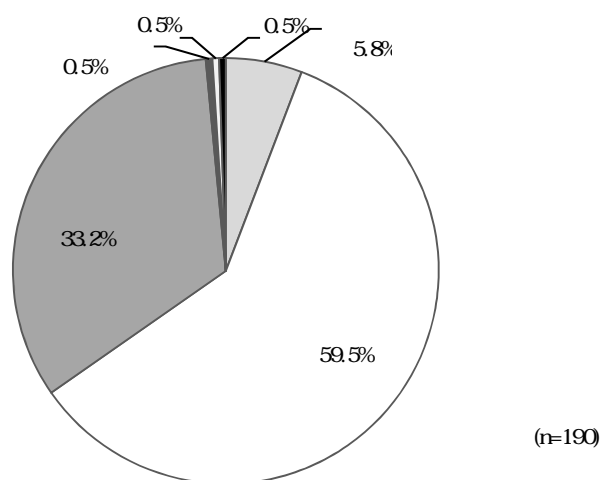
- ・北陸新幹線の金沢開業については、業種・規模に拘わらず約9割の企業が北陸地域の経済へ影響が「ある」「多少はある」と答えている。
- ・自社の商圏の変化については、約4割(37.3%)が「ある」「多少はある」とし、一方売上げの変化については「変わらない」(64.2%)とする回答が多かった。
- ・北陸の経済界として取り組むべき内容としては、「更なるインフラ整備」(60.5%)「観光客の満足度向上、リピーター獲得」(57.9%)を挙げる企業が多く見られ、次いで「北陸三県との広域連携」(45.3%)となった。

I. 景気動向

足もとは全体として回復基調にあるものの、26年度上期は景気減速を懸念する企業が増加

- 25年度下期の景気動向については、前期（25年度上期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が65.3%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の1.0%を大きく上回った。（図表1）
- 25年度下期の景気について、景気判断BSI（図表2、※）でみると、前回調査の現状（25年度上期）判断の51.3から、今回は64.3と改善しており、景気は良くなっているとみている企業が増加している。業種別にみると、製造業が58.7（前回47.5）、非製造業が66.9（前回53.1）とどちらも大きく改善した。
- 来期（26年度上期）の見通しについては13.1と今期（64.3）から大幅に減少をしている。今期に比べ、来期の景気が悪くなるとみている企業が増加しており、消費増税の影響を危惧する企業が多いことが予想される。（図表2）
- 25年度下期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が84.2%で、前回調査（75.1%）を上回っており、回復基調にあることがうかがえる。（図表3）
- 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由は、「企業収益の回復」が54.4%（前回30.2%）と最も多く、「公共投資の効果」が48.1%（前回37.4%）、「個人消費の回復」が41.9%（前回34.5%）と続いている。（図表4）
- 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業について、今後回復に転じると予想される時期は、26年度下期とみる企業が29.2%と最も多く、27年度上期までに回復に転じるとみる企業は58.4%を占める。（図表5）

図表1. 平成25年度下期の景気（前期比）



図表2. 平成25年度下期の景気判断と見通し

※景気判断BSI

（「良い」「やや良い」） - （「悪い」「やや悪い」）社数構成比

	25 4 9		25 10 3		26 4 9	
	BSI		BSI		BSI	
	51.3		64.3	13.0	13.1	51.2
	47.5		58.7	11.2	19.1	39.6
	53.1		66.9	13.8	10.2	56.7
	57.2		65.5	8.3	9.8	55.7
	45.1		70.9	25.8	4.2	66.7
	50.0		57.5	7.5	24.6	32.9

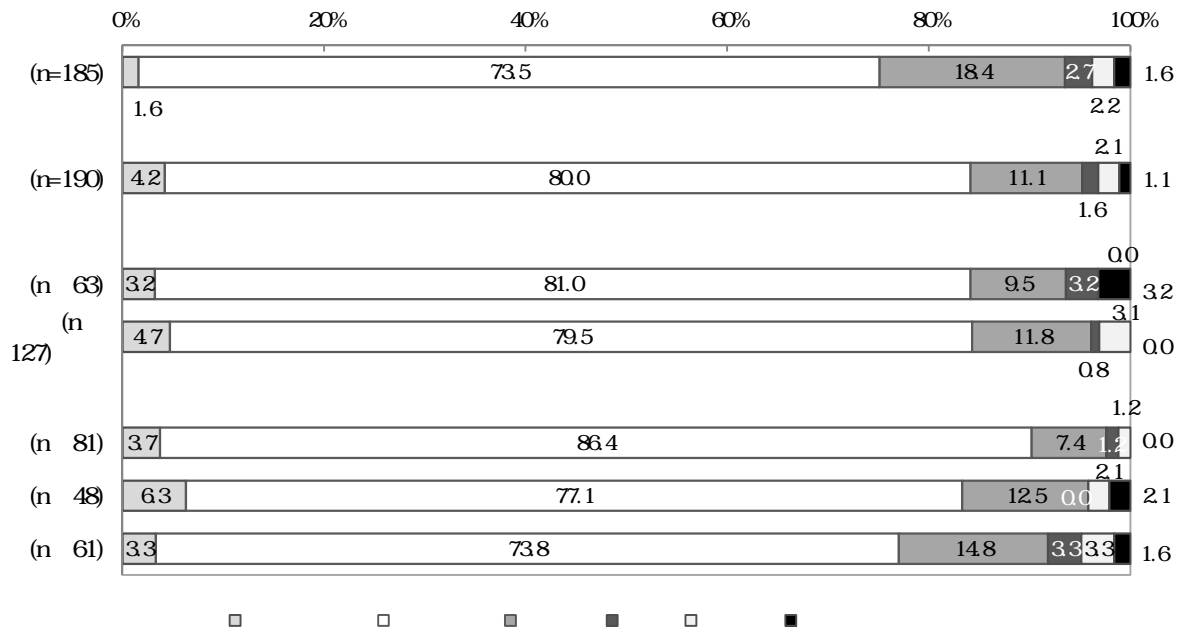
) 25 10 3 ()

25 4 9 ()

26 4 9 ()

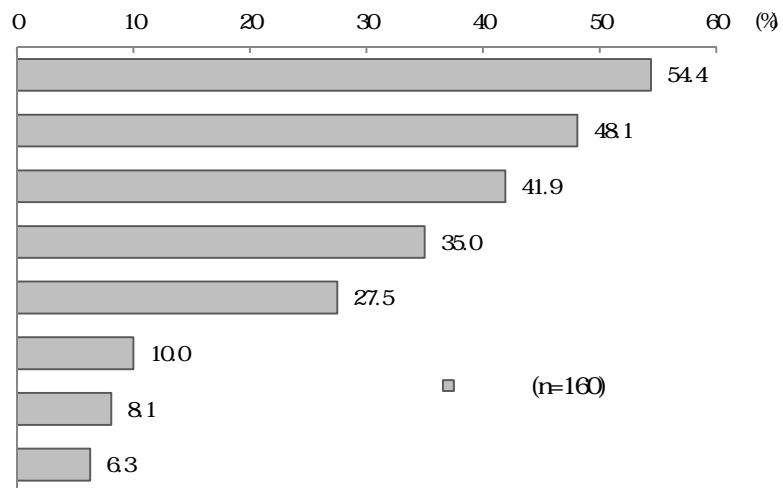
25 10 3 ()

図表3. 平成25年度下期の景気基調



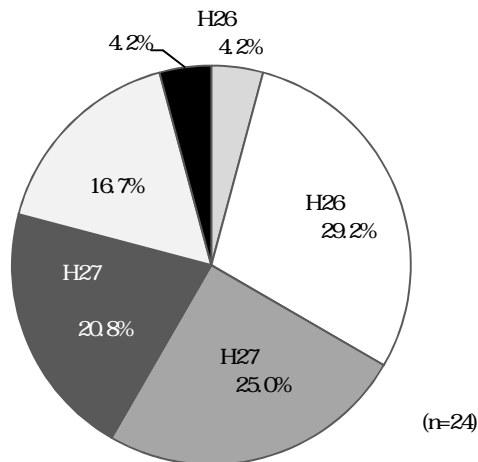
図表4. 平成25年度下期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業



Ⅱ. 業績

足もとは中小企業にも改善の動き、26年度上期は悪化を見込む企業が増加

- ・ 25年度下期の業績について、業績判断BSI（図表6 ※）の現状判断をみると、39.9となり、前回調査（25年度上期）の28.1からプラス幅が広がっており、業績が改善したとみている企業が増加している。
- ・ 業種別でみると、製造業が27.0（前回28.8）と前回調査からやや減少している一方、非製造業が46.4（前回27.7）と大幅に増加している。規模別では、大企業が43.2（前回42.8）、中堅企業が31.2（前回23.6）、中小企業が42.7（前回15.5）と、全ての規模でプラス幅が拡大している。特に、中小企業について、前回調査から業績が改善したとする企業が大幅に増加している。（図表6）
- ・ 来期（26年度上期）の見通しについては2.0（今期39.9）と、悪化を見込む企業が増加している。業種別でみると、製造業が15.9（今期27.0）、非製造業が▲4.7（今期46.4）と、特に非製造業で、悪化を見込む企業が改善を見込む企業を大きく上回っている。規模別でも、いずれも悪化を見込む企業が大幅に増加している。（図表6）
- ・ 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が36.3%（前回28.1%）、「悪い」「大変悪い」とみている企業が18.4%（前回17.9%）となっており、改善の動きがみられる。（図表7）
- ・ 経営上の課題では、「人材養成・確保」（63.2%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（56.8%）となっている。業種別でみると、製造業では「国内販売力の強化」（55.6%）、「人材養成・確保」（47.6%）に次いで、「新商品開発」（42.9%）が多い。非製造業では「人材養成・確保」（70.9%）、「国内販売力の強化」（57.5%）の2点が他に比べて大幅に多くなっている。（図表8）

図表6. 平成25年度下期の業績判断と見通し

※業績判断BSI

（「改善」「やや改善」） - （「悪化」「やや悪化」）社数構成比

	25 4 9		25 10 3		26 4 9	
	BSI		BSI		BSI	
	28.1		39.9	11.8	2.0	37.9
	28.8		27.0	1.8	15.9	11.1
	27.7		46.4	18.7	4.7	51.1
	42.8		43.2	0.4	13.5	29.7
	23.6		31.2	7.6	14.6	45.8
	15.5		42.7	27.2	0.0	42.7

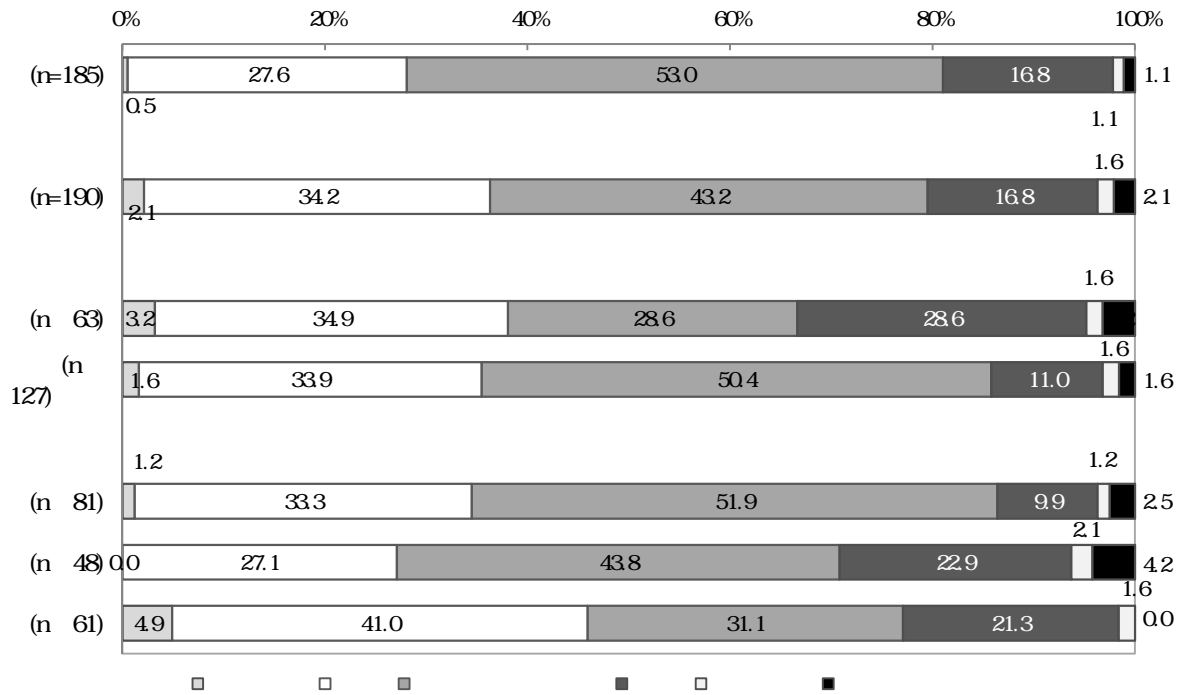
) 25 10 3 ()

25 4 9 ()

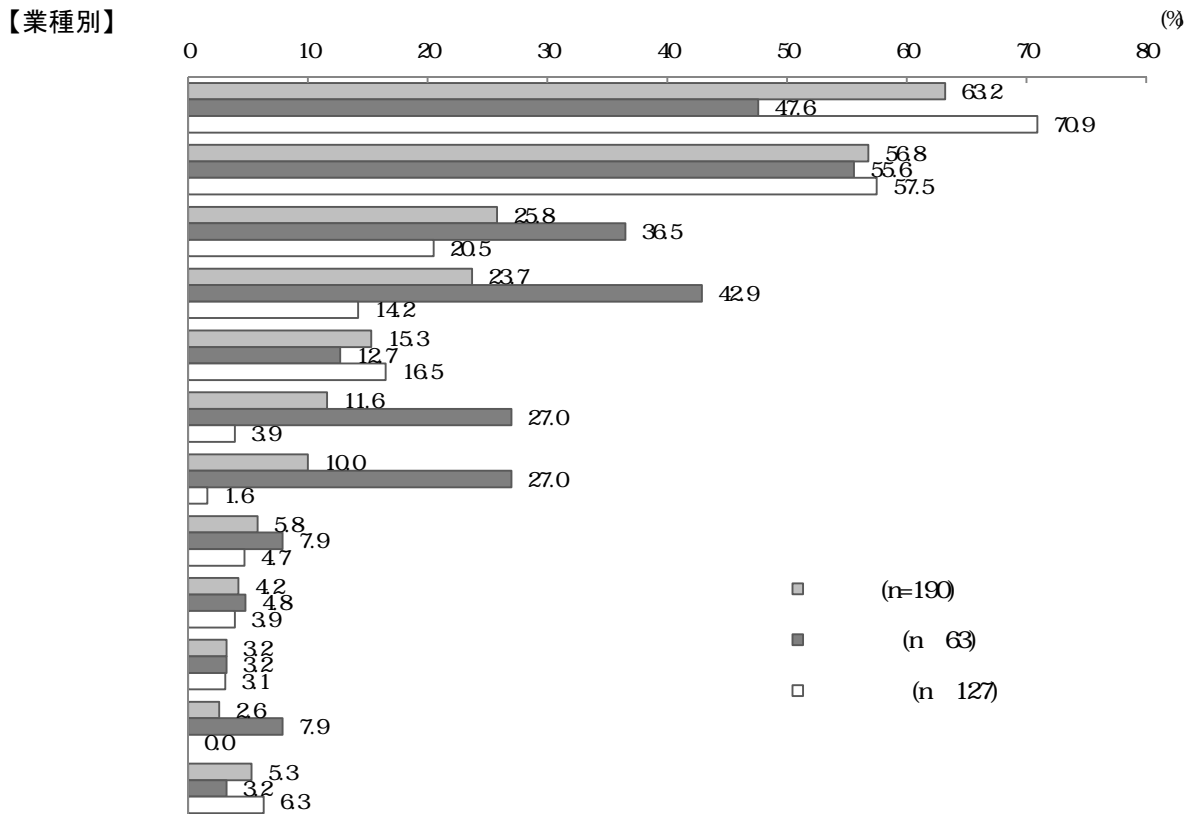
26 4 9 ()

25 10 3 ()

図表7. 現在の業績水準



図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

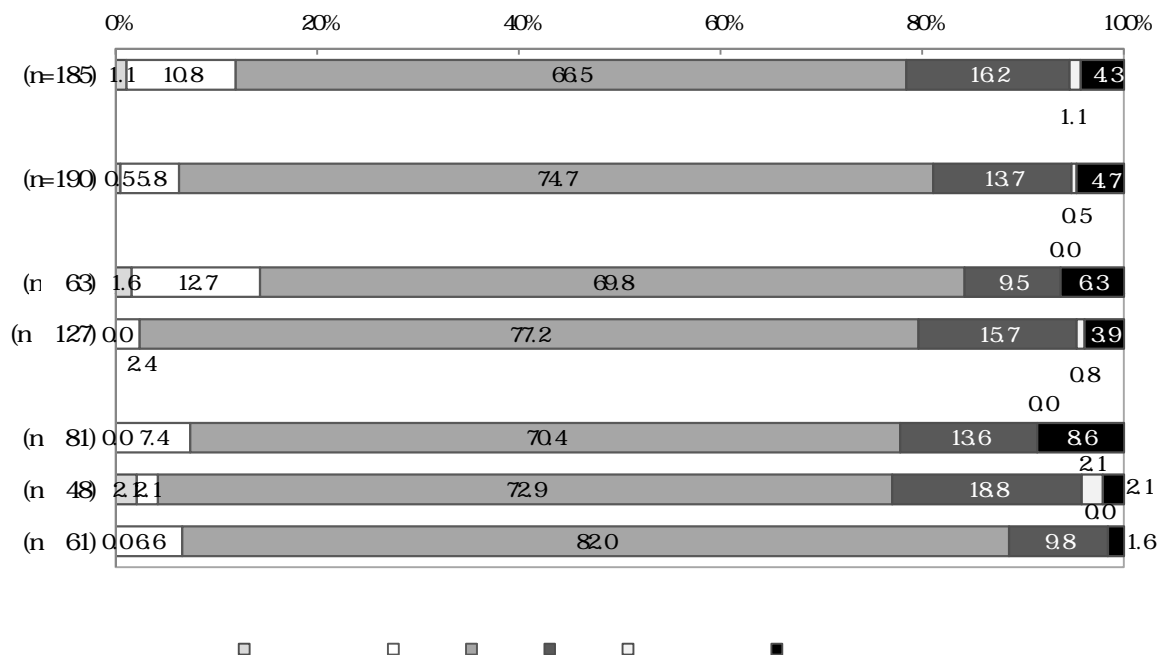


Ⅲ. 設備投資

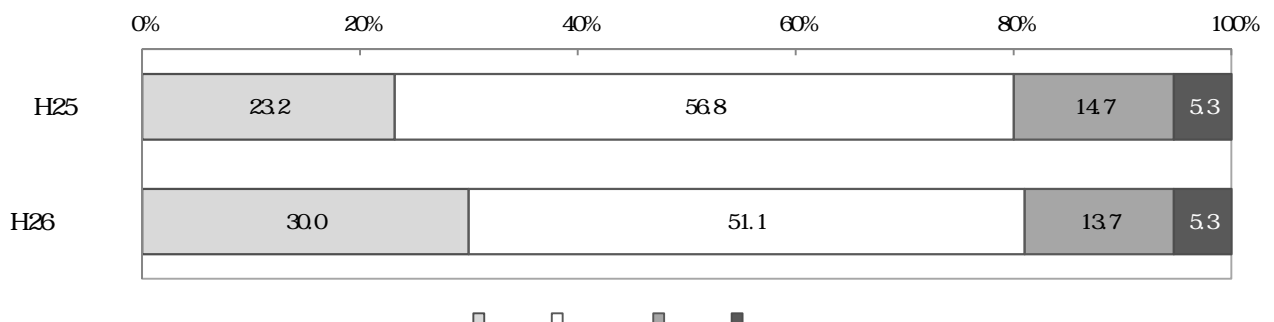
設備水準は適正に近づきつつも、全体として25年度に引き続き増加傾向にある

- ・ 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が74.7%で、前回調査（66.5%）から増加し、7割以上を占めた。（図表9）
- ・ 設備投資（前年対比）について、25年度は「増加した」と答えた企業（23.2%）が「減少した」と答えた企業（14.7%）を上回った。26年度見込みについても、「増加する」と答えた企業（30.0%）が「減少する」と答えた企業（13.7%）を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。（図表10）
- ・ 26年度の設備投資が増加するとした理由としては、「設備の維持・更新が必要」（78.9%）が最も多くを占めている。（図表11）
- ・ 一方、26年度の設備投資が減少するとした理由は、「前年度が高水準（反動減）」（69.2%）が最も多かった。（図表12）

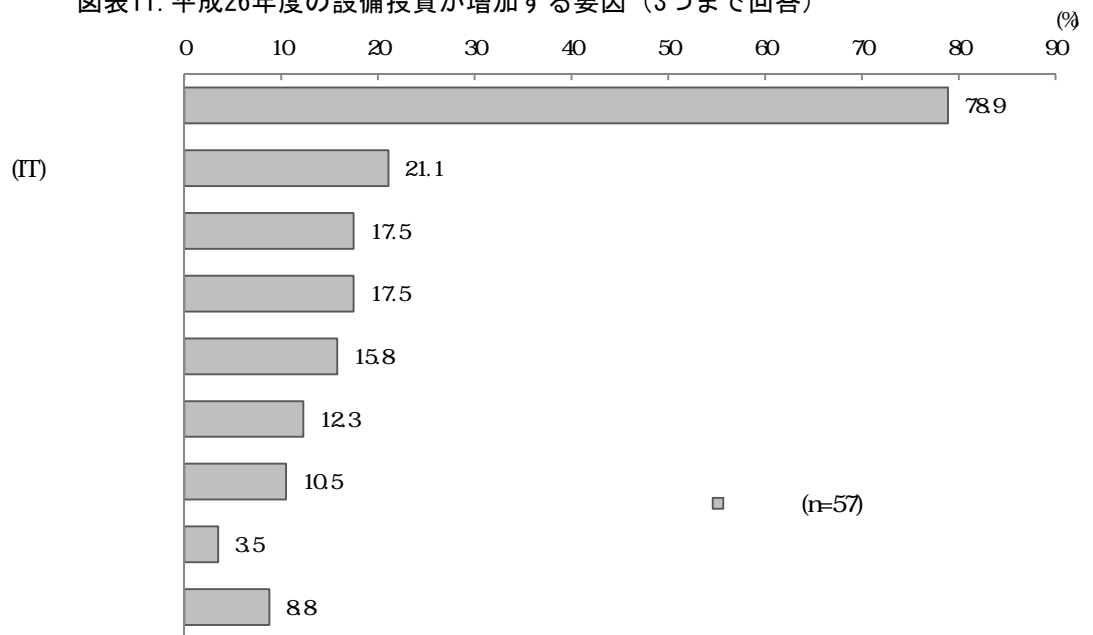
図表9. 現在の設備水準



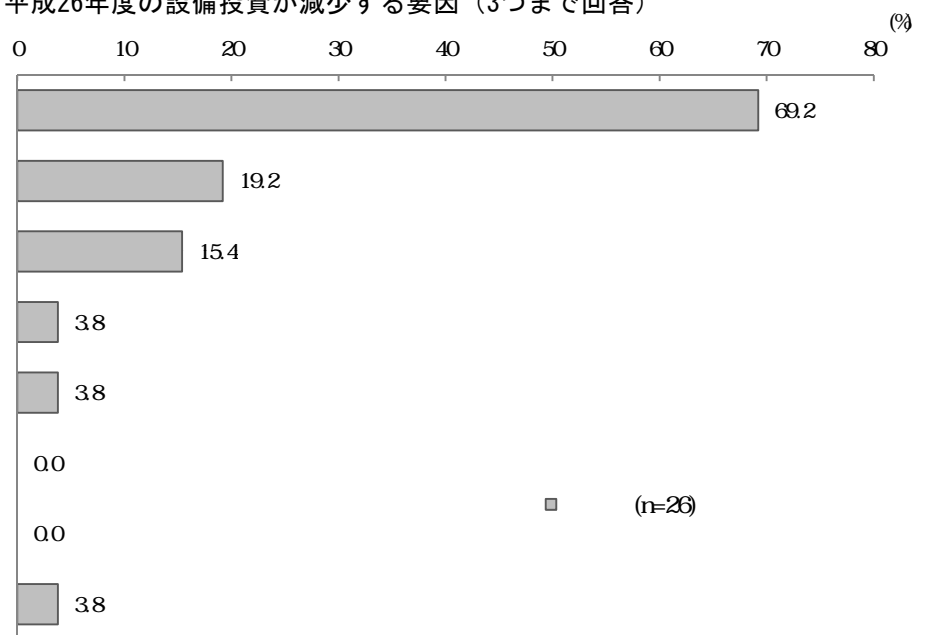
図表10. 設備投資（前年度比）



図表11. 平成26年度の設備投資が増加する要因（3つまで回答）



図表12. 平成26年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）

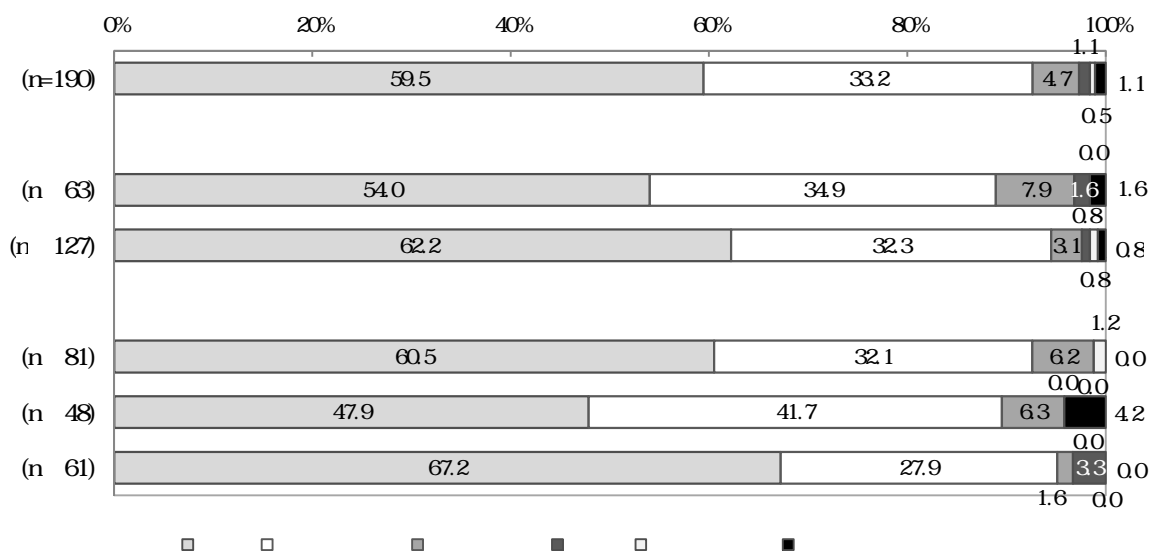


IV. その他

北陸新幹線の金沢開業による影響について

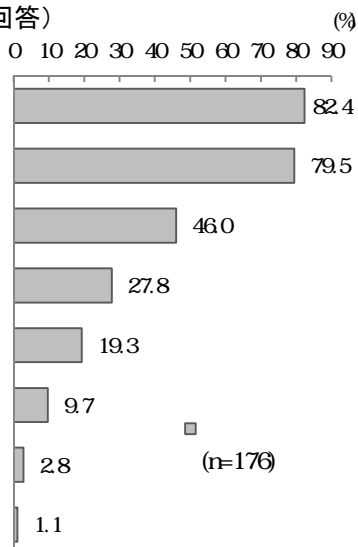
- ・北陸新幹線の金沢開業については、業種・規模に拘わらず約9割の企業が北陸地域の経済へ影響が「ある」「多少はある」と答えている。(図表13)
- ・良い面の影響としては、「観光客の増加」「交流人口の増加」の2点を多くの企業が挙げている。(図表14)
- ・悪い面の影響としては、「首都圏方面へのストロー現象」と答えた企業が66.5%と最も多く、次いで「営業所の閉鎖」「移動時の利便性の低下」「都市間競争の激化」が続く結果となった。(図表15)
- ・自社の商圈の変化については、約4割(37.3%)が「ある」「多少はある」とし、一方売上げの変化については「変わらない」(64.2%)とする回答が多かった。(図表16.17)
- ・北陸の経済界として取り組むべき内容としては、「更なるインフラ整備」(60.5%)「観光客の満足度向上、リピーター獲得」(57.9%)を挙げる企業が多く見られ、次いで「北陸三県との広域連携」(45.3%)となった。北陸新幹線敦賀延伸をはじめとする広域交通ネットワークの整備促進や、北陸の魅力・満足度向上に向けた取り組みや、北陸三県が一体となった広域観光の推進が必要と考えられる。(図表18)

図表13. 北陸地域の経済への影響



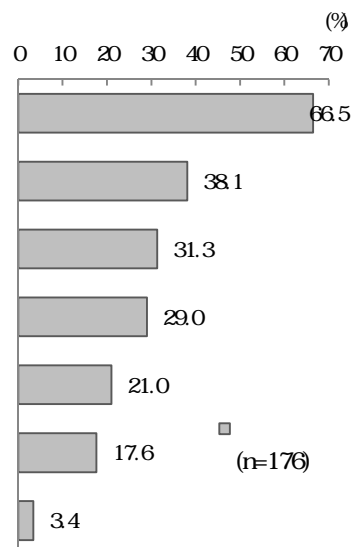
図表14. 北陸地域の経済への影響【良い面】

(3つまで回答)

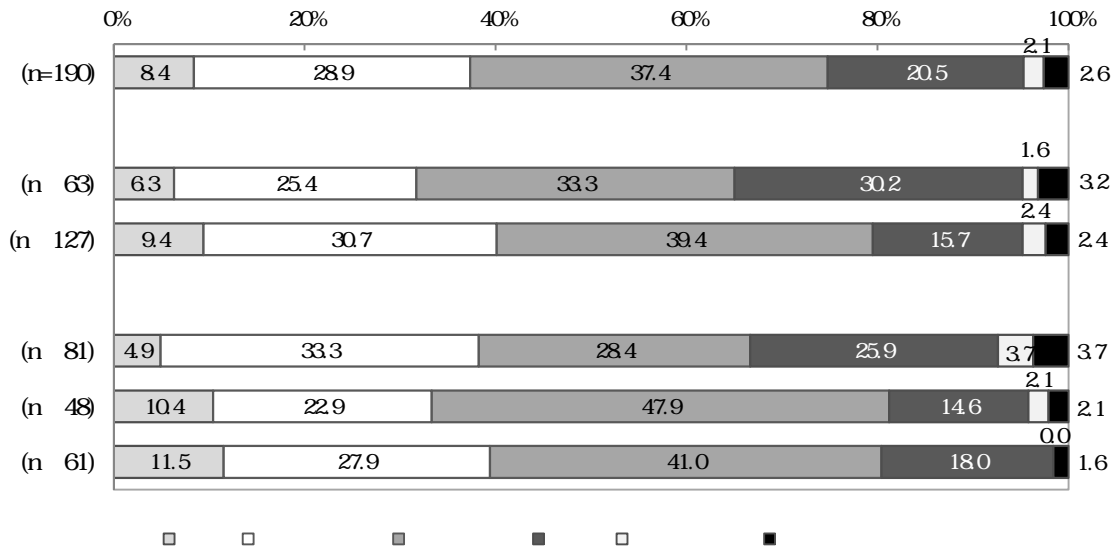


図表15. 北陸地域の経済への影響【悪い面】

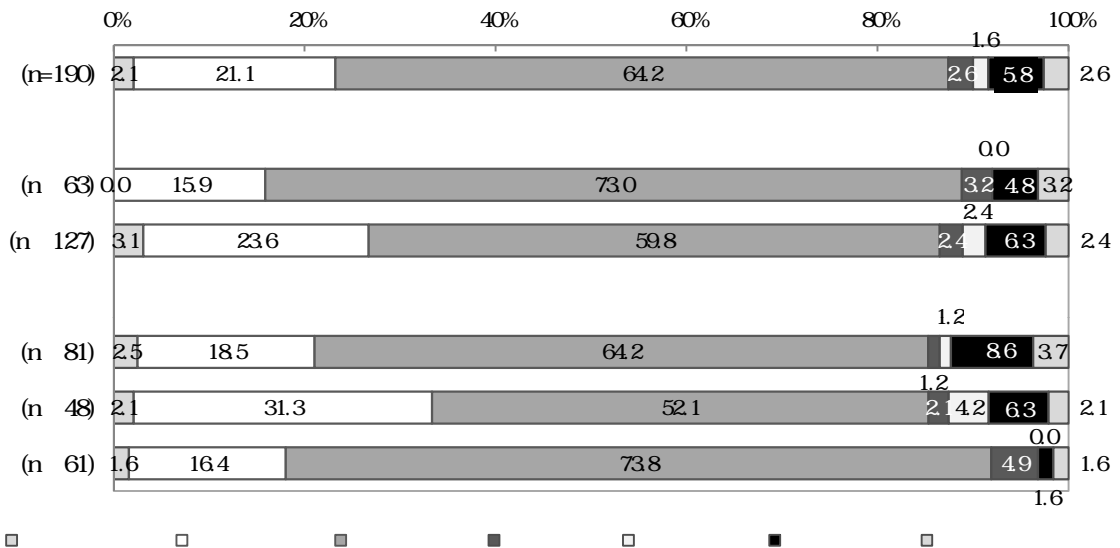
(3つまで回答)



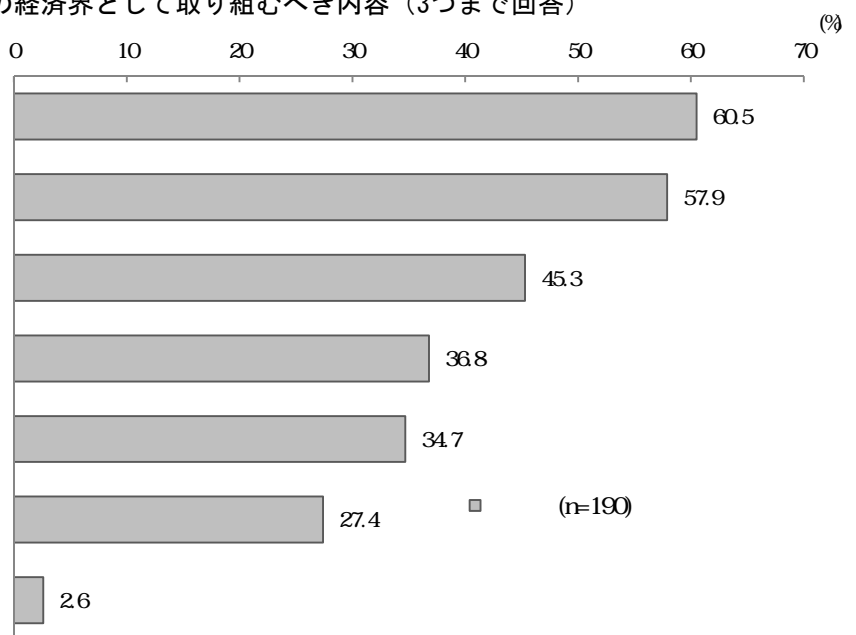
図表16. 商圈の変化について



図表17. 売上げの変化について



図表18. 北陸の経済界として取り組むべき内容 (3つまで回答)

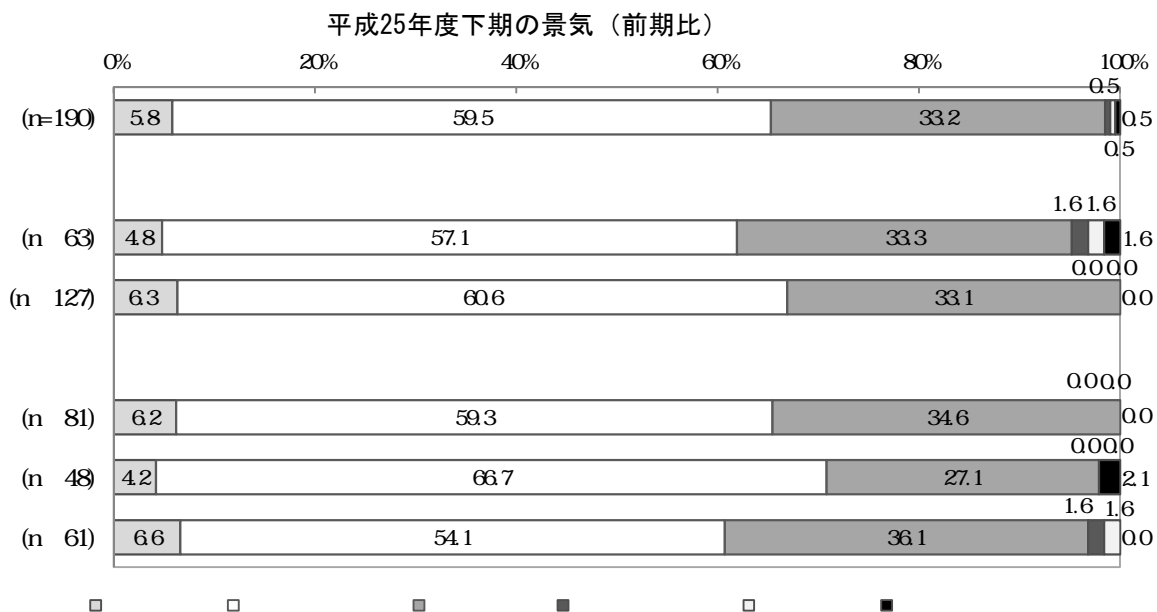


参考(アンケート調査結果)

I 景気動向

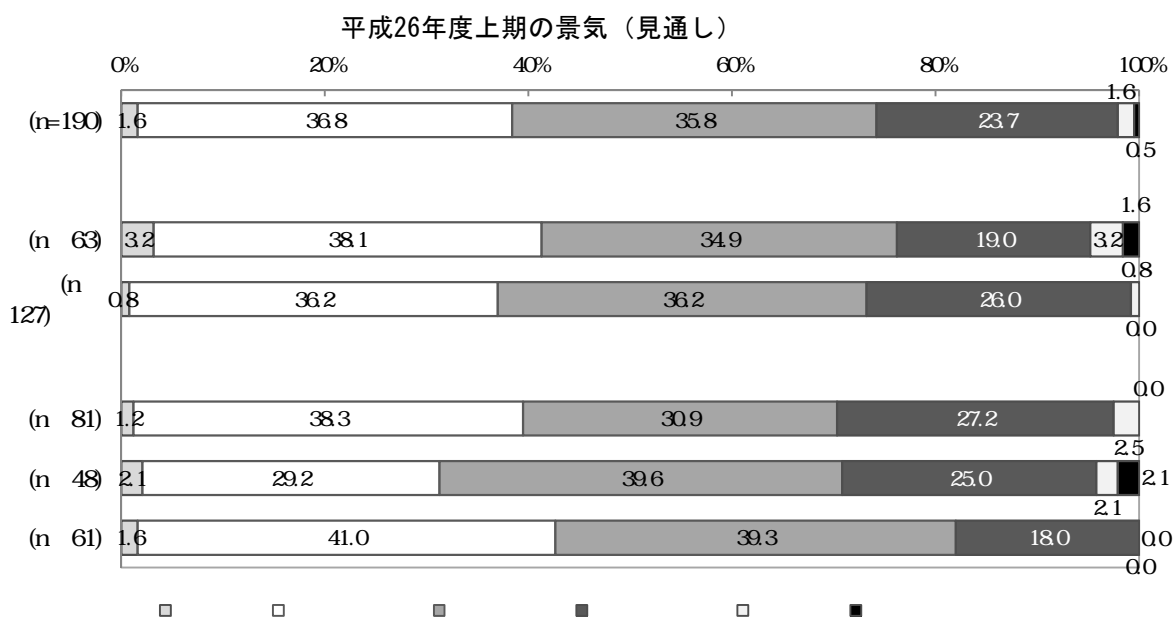
Q.1

北陸地域の平成25年度下期(10月～3月)の景気は平成25年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

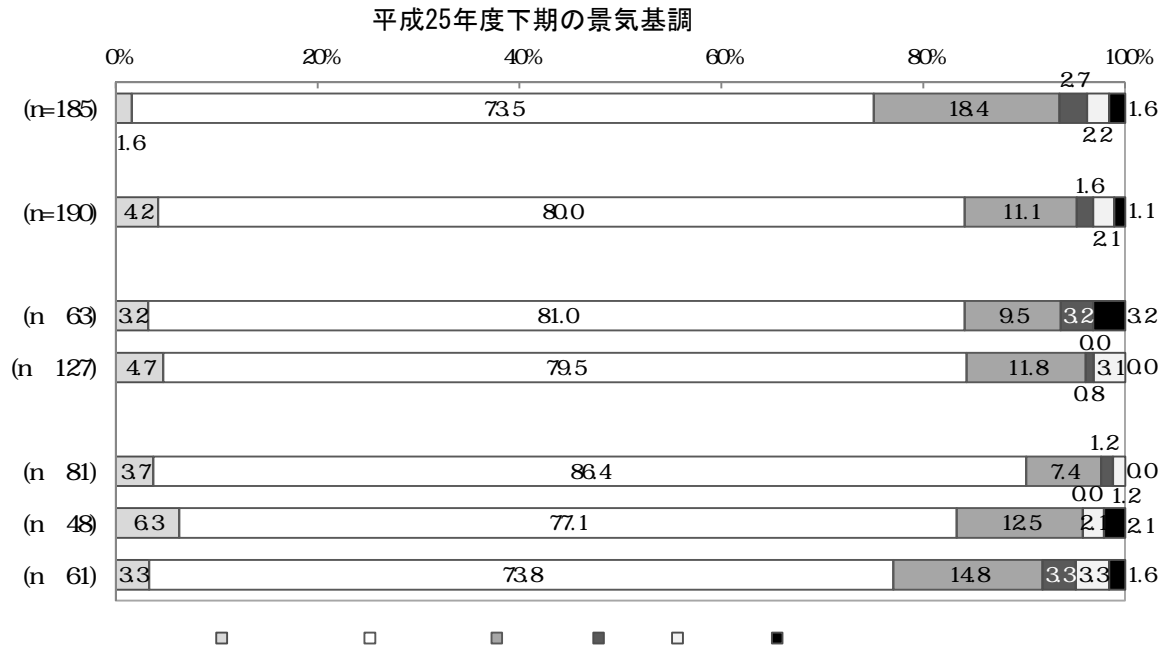
北陸地域の平成26年度上期(4月～9月)の景気は平成25年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



I 景気動向

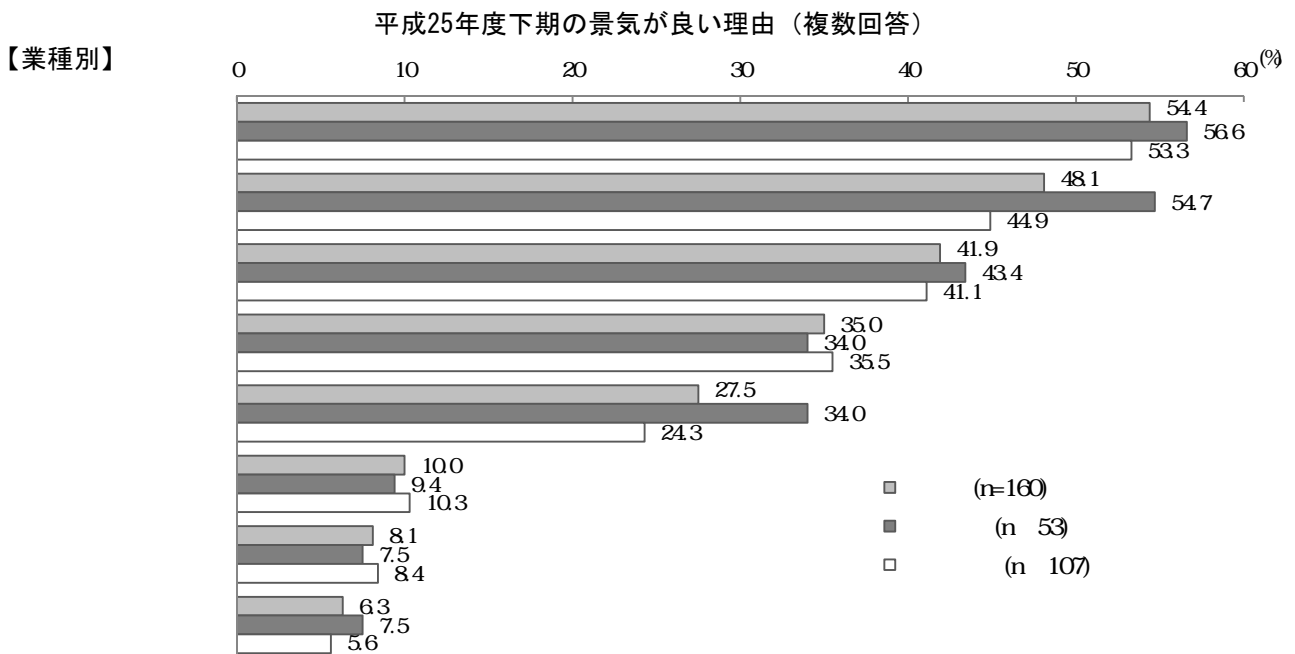
Q.3

平成25年度下期(10月～3月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。



Q.4

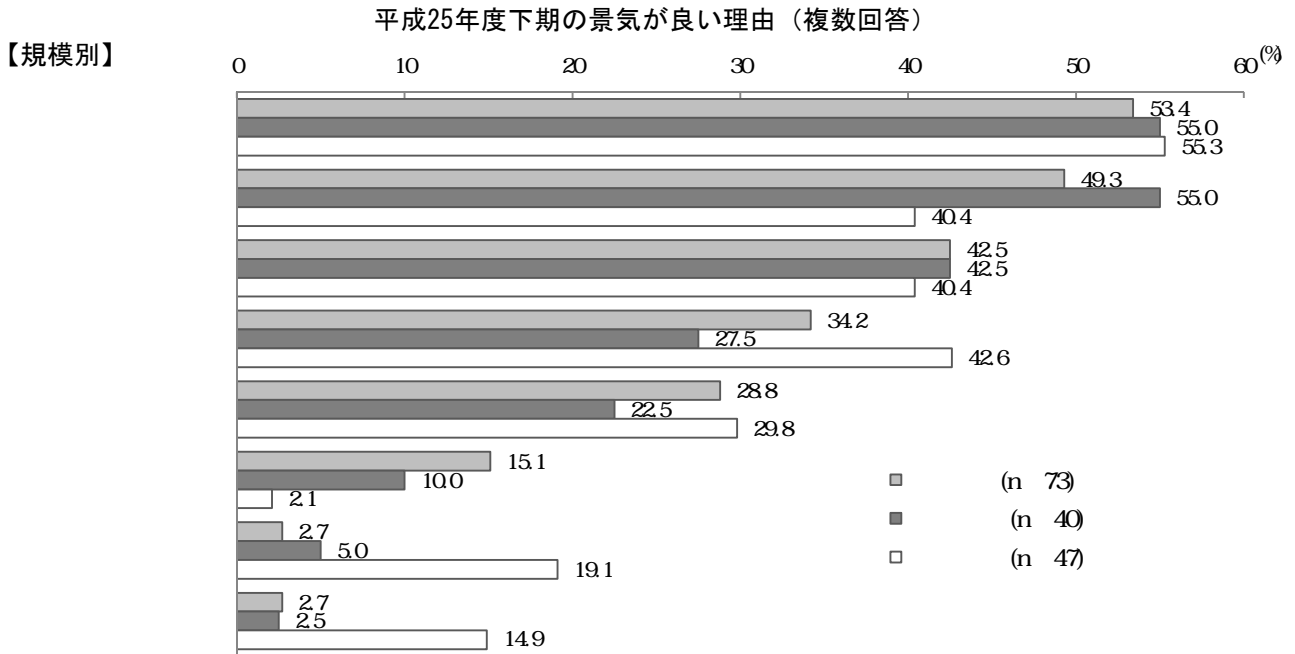
Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
平成25年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



I 景気動向

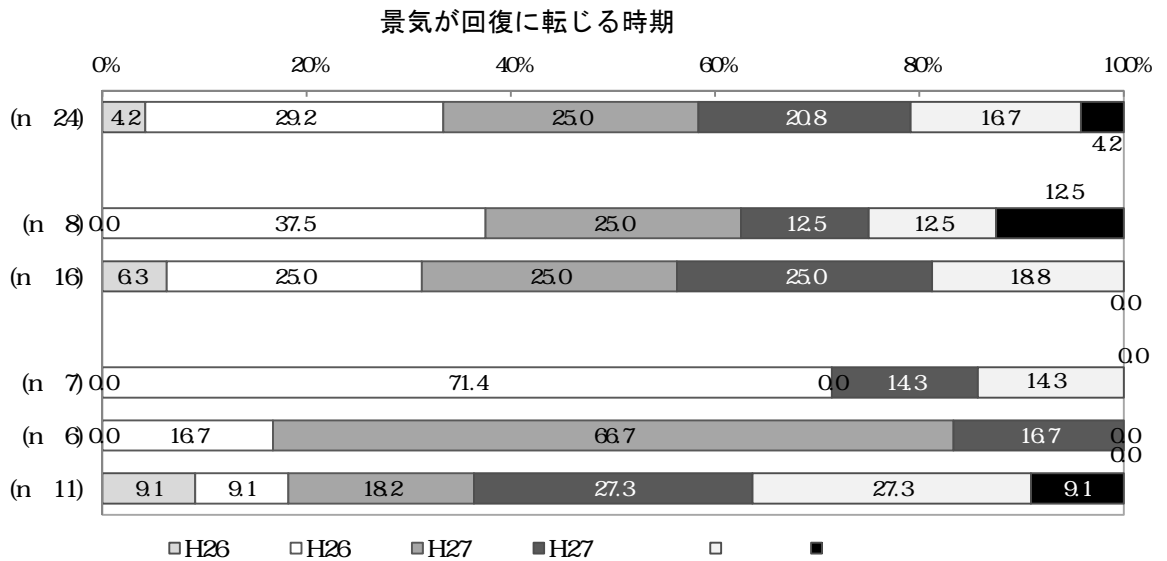
Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
 平成25年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



Q.5

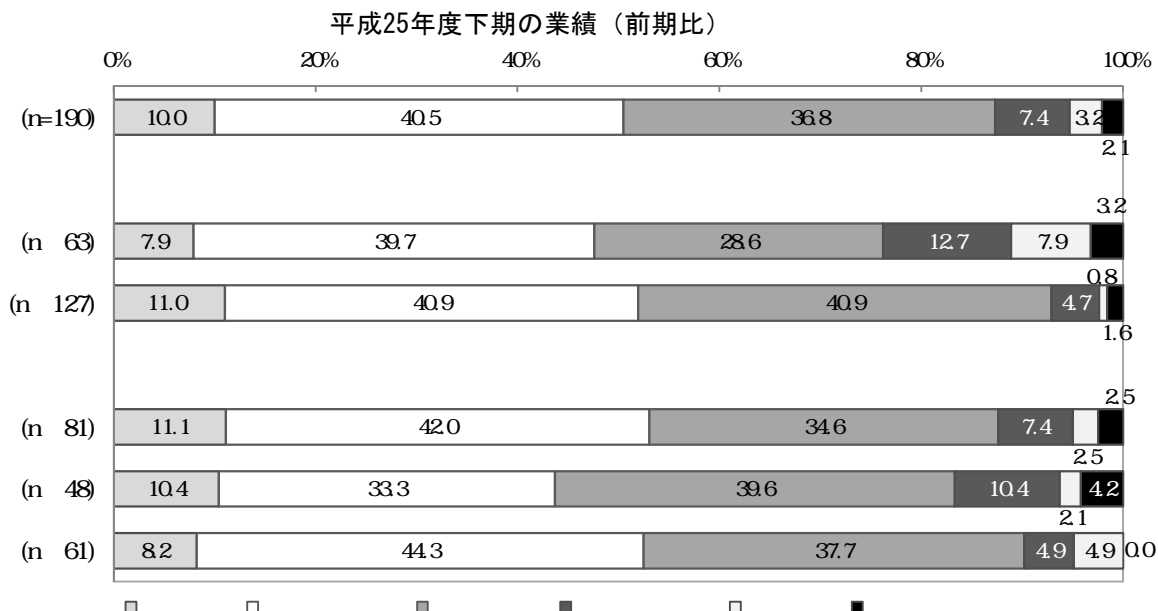
Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ
 北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。



II 業績

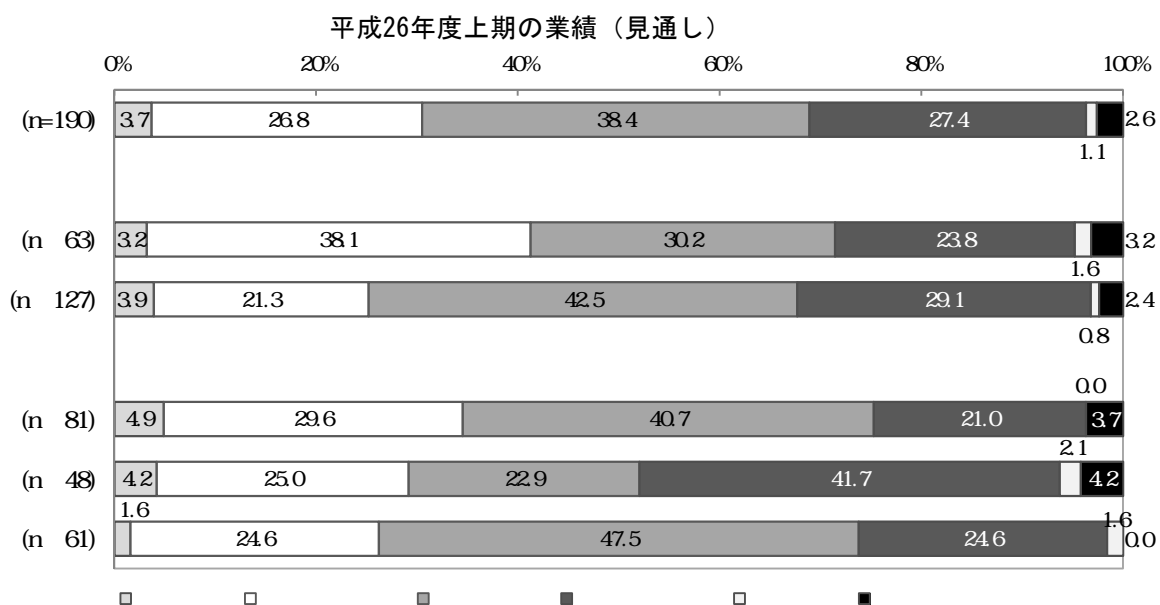
Q.1

貴社の平成25年度下期(10月～3月)の業績は、平成25年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

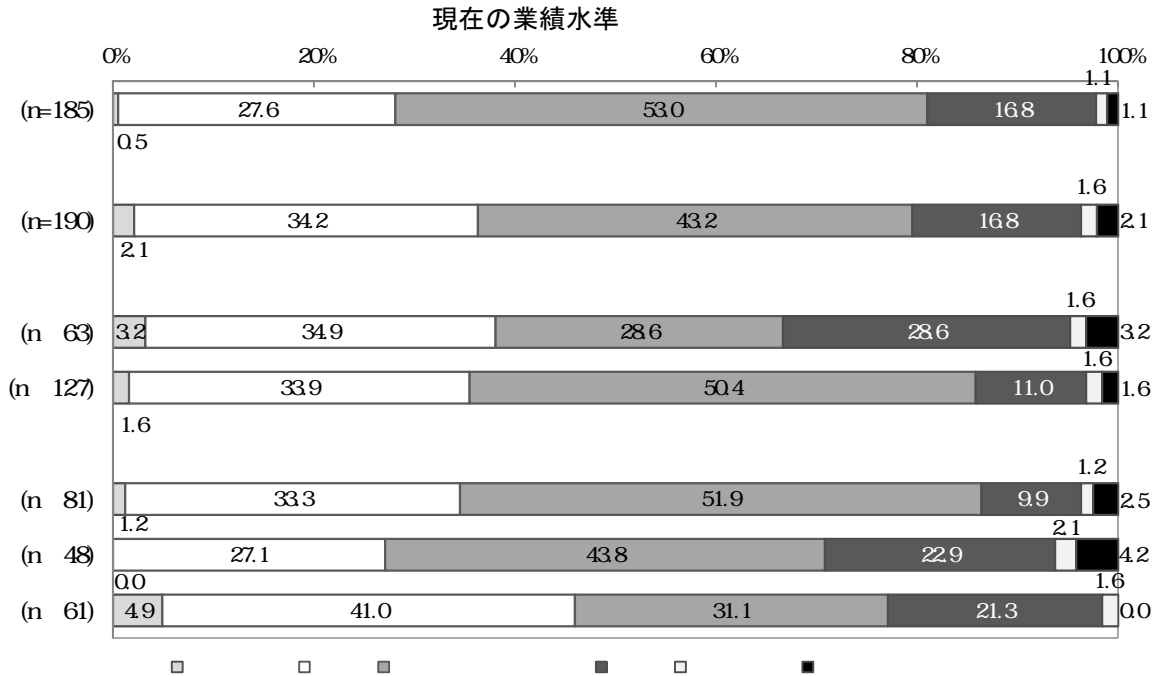
貴社の平成26年度上期(4月～9月)の業績は、平成25年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



II 業績

Q.3

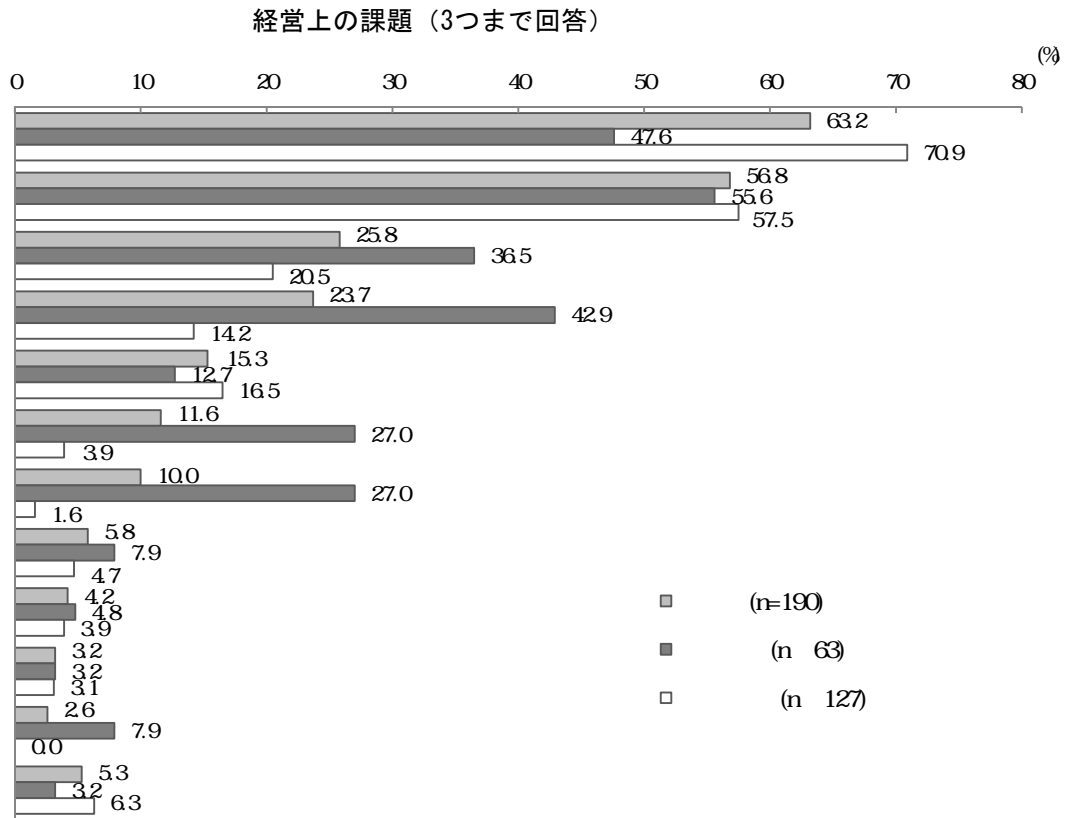
現在の貴社の業績水準についてどう思われますか。



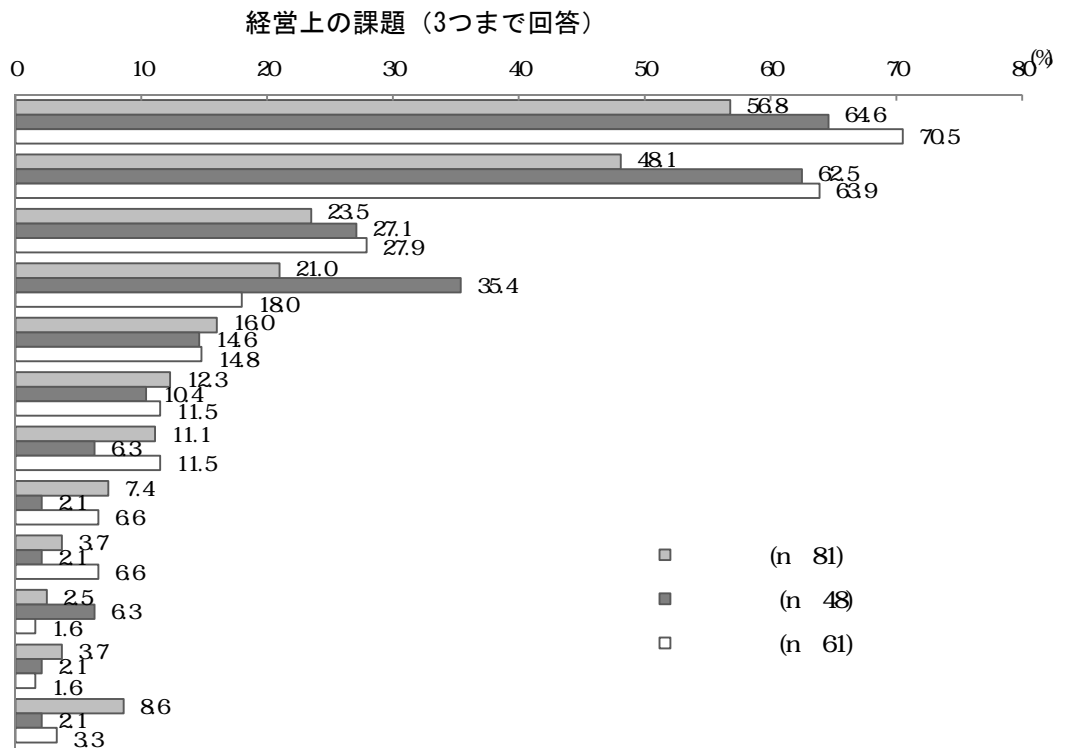
Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)

【業種別】



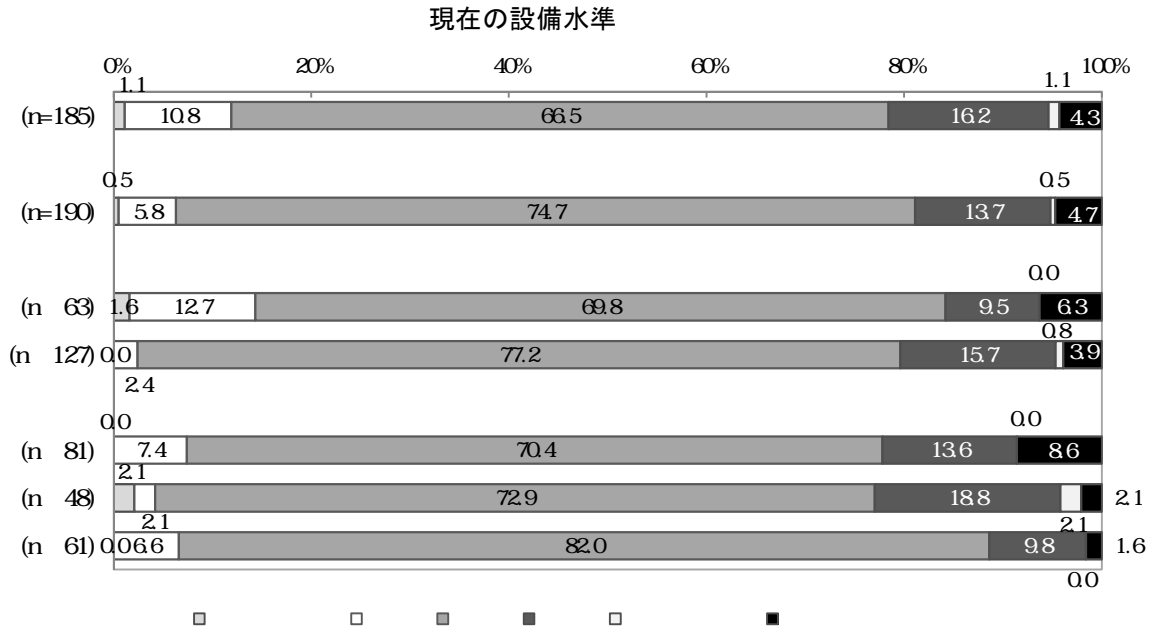
【規模別】



III 設備投資

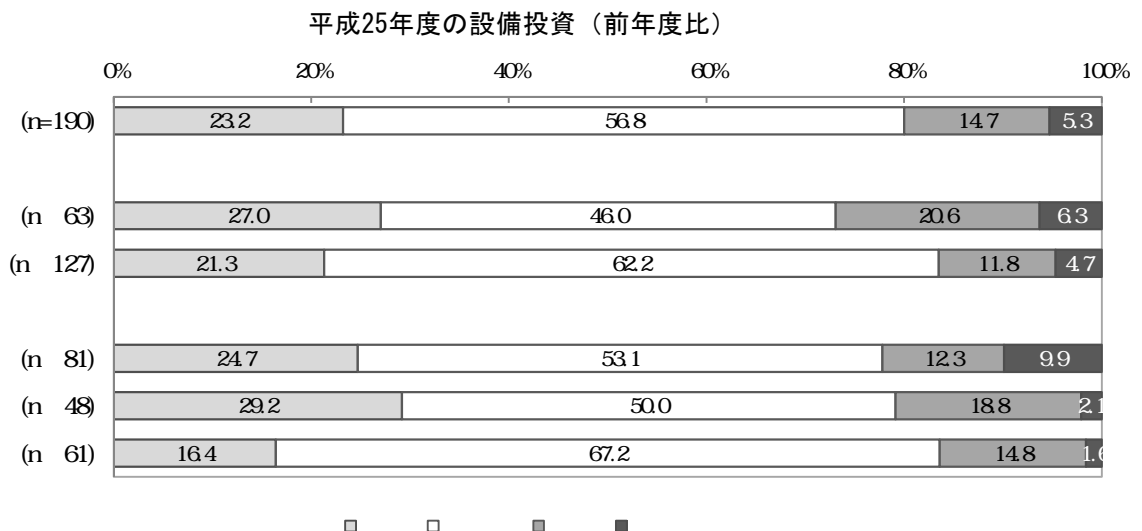
Q.1

貴社の現在の設備水準はどうか。



Q.2

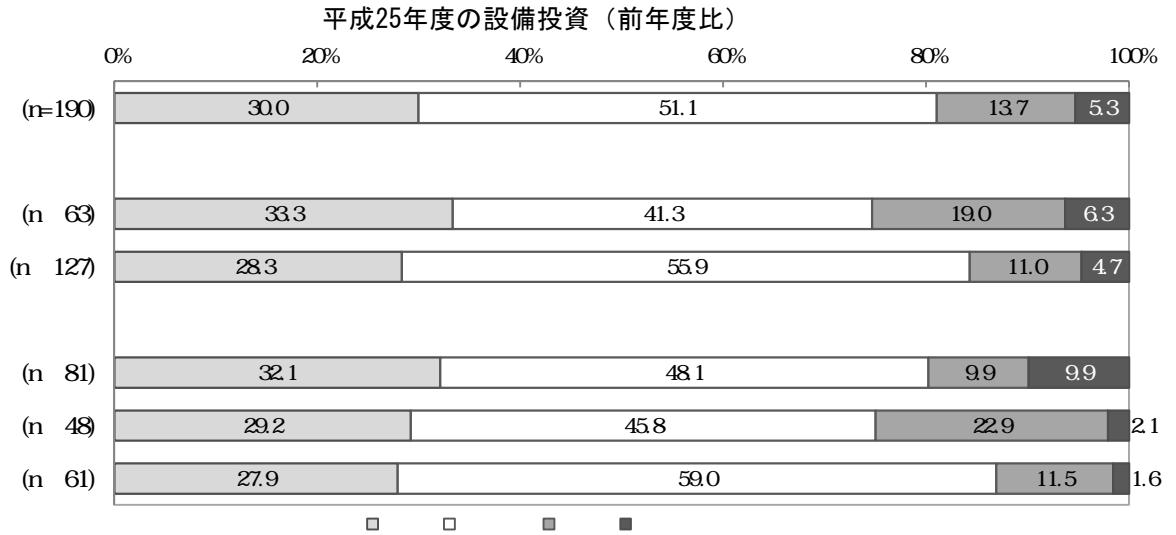
貴社の平成25年度の設備投資は平成24年度に比べ、増加しましたか、減少しましたか。



III 設備投資

Q.3

貴社の平成26年度の設備投資は平成25年度に比べ、増加する見込みですか、減少する見込みですか。

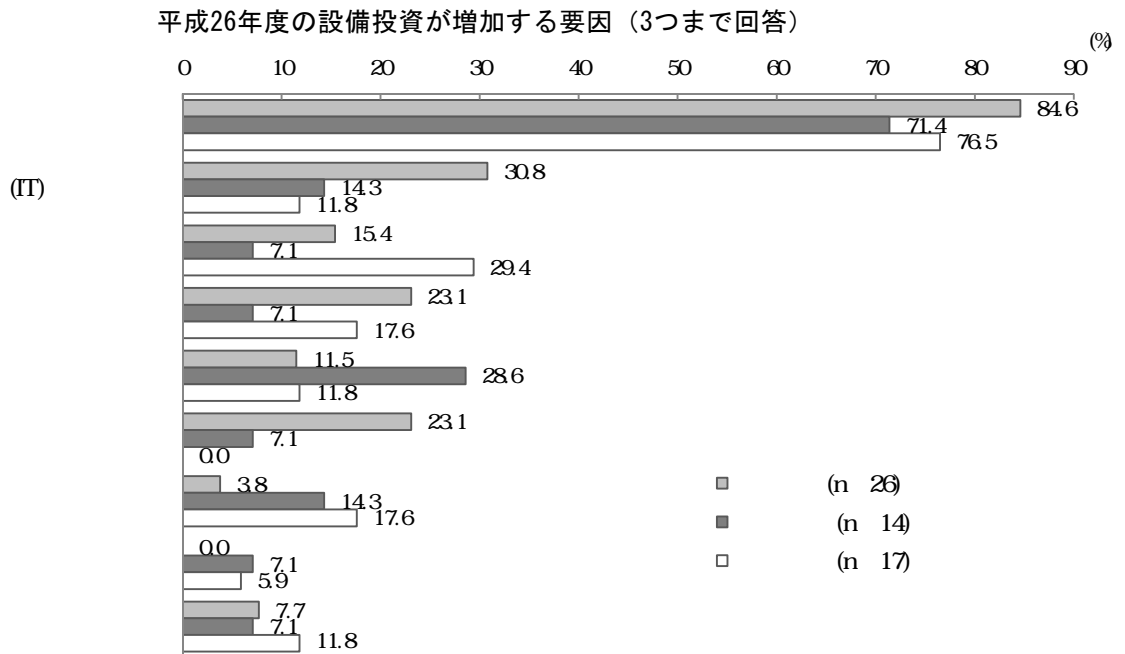
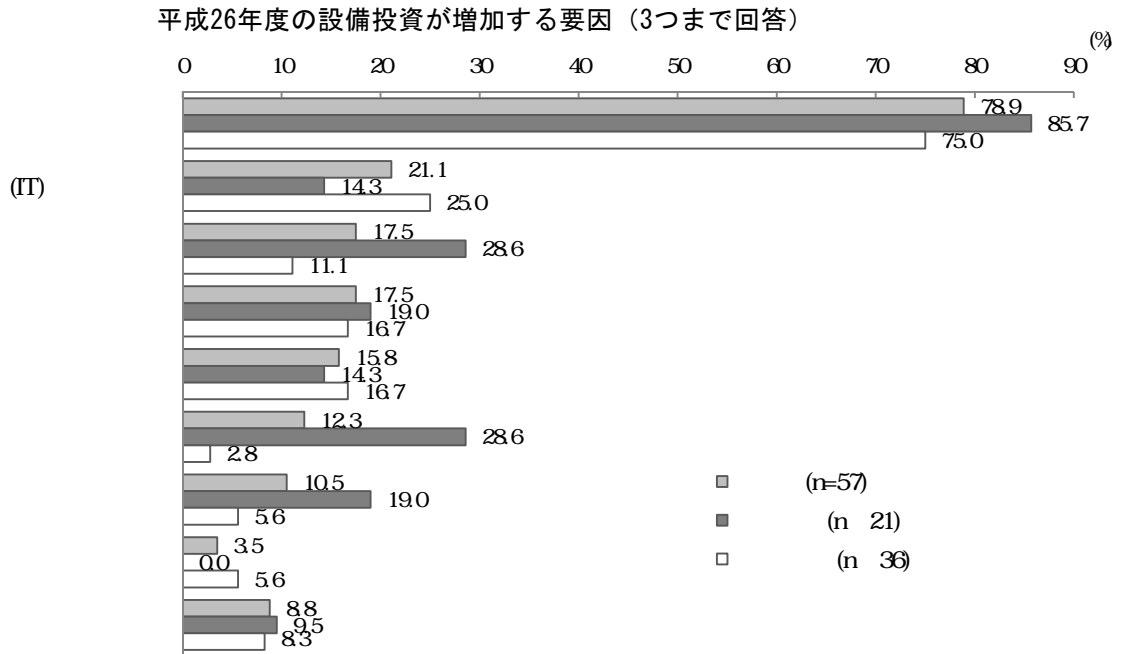


III 設備投資

Q.4

Q.3で「増加する」と回答された方へ

平成26年度の設備投資が、平成25年度と比較して増加する要因をお答えください。(3つまで回答可)



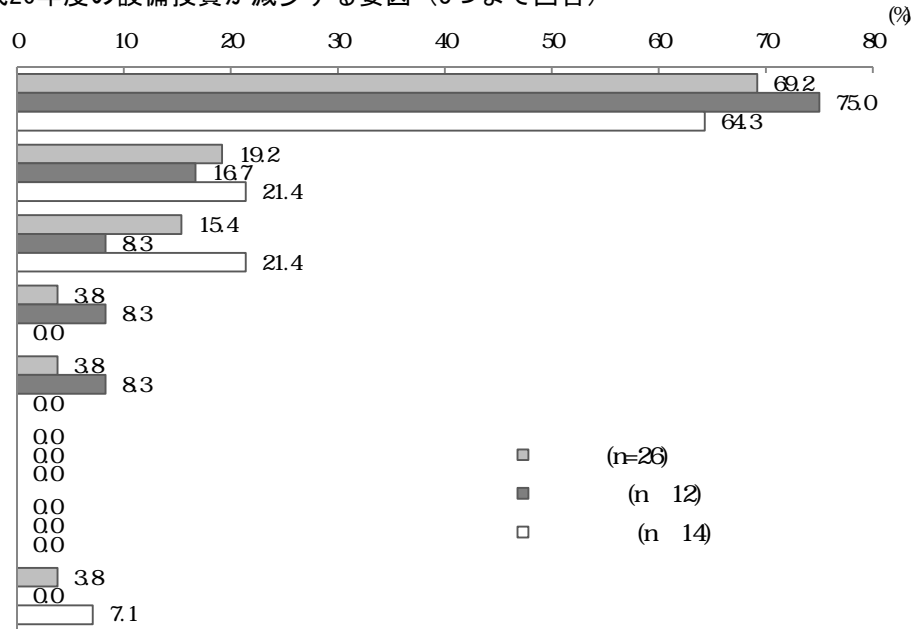
III 設備投資

Q.5

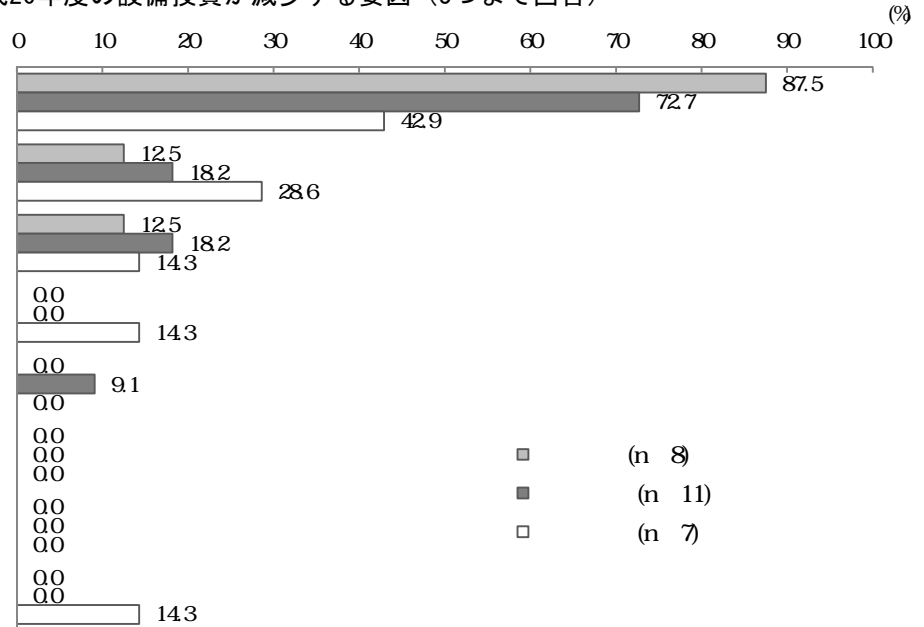
Q.3で「減少する」と回答された方へ

平成26年度の設備投資が、平成25年度と比較して減少する要因をお答えください。（3つまで回答可）

平成26年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）



平成26年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）

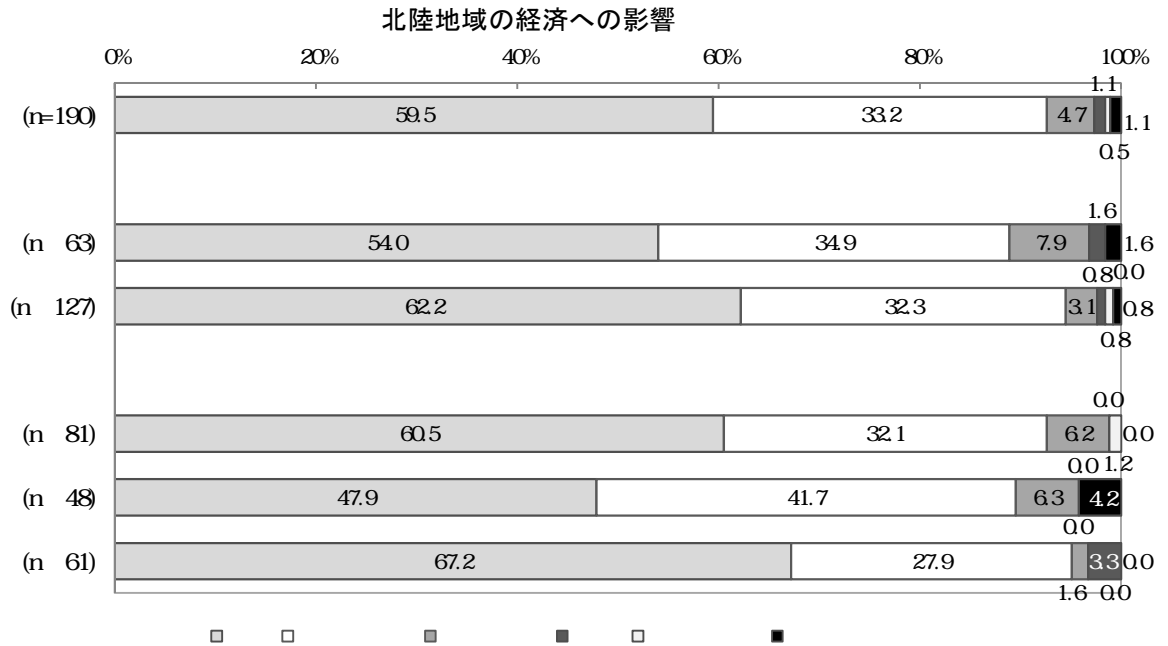


IV その他(北陸新幹線の金沢開業)

北陸新幹線の金沢開業を1年後に控え、開業による影響についてお聞きします。

Q.1

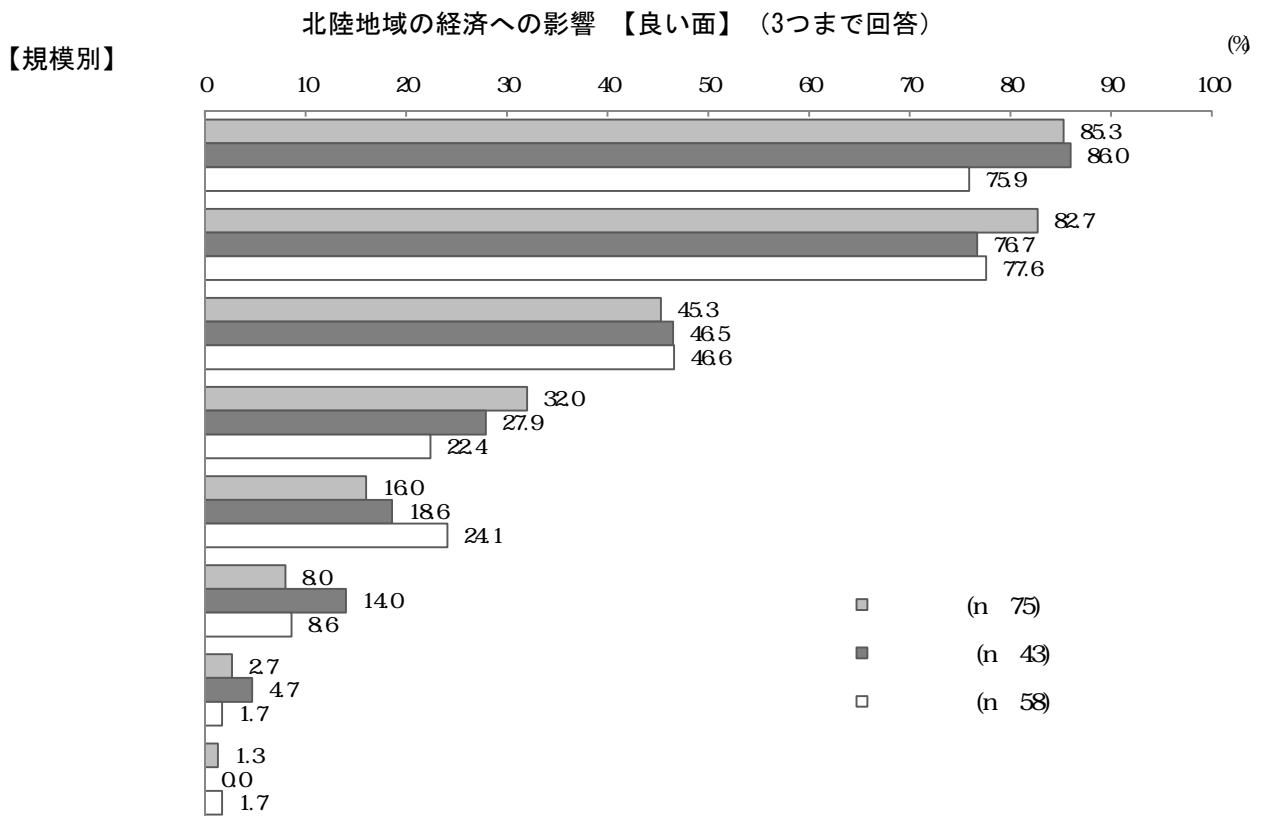
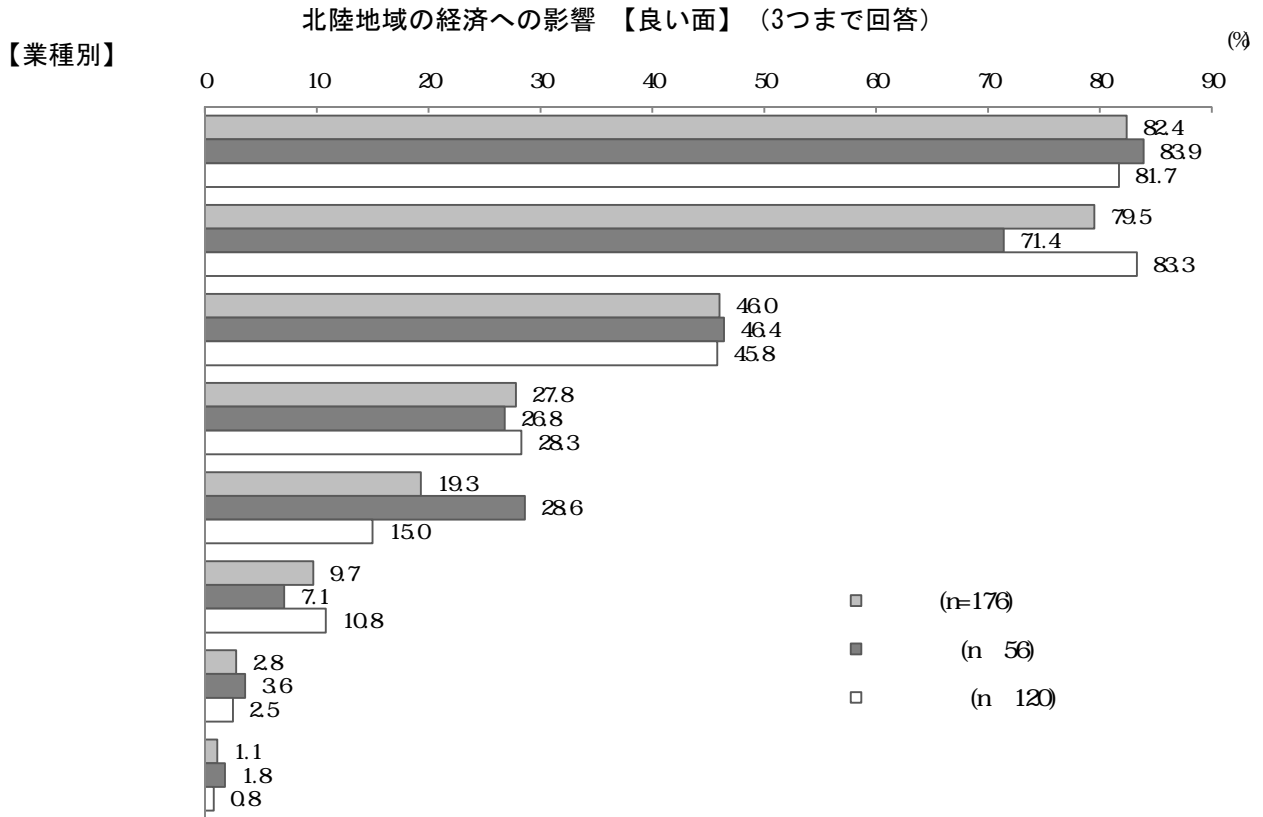
北陸地域の経済にとって、影響はあると思いますか。



IV その他(北陸新幹線の金沢開業)

Q.2

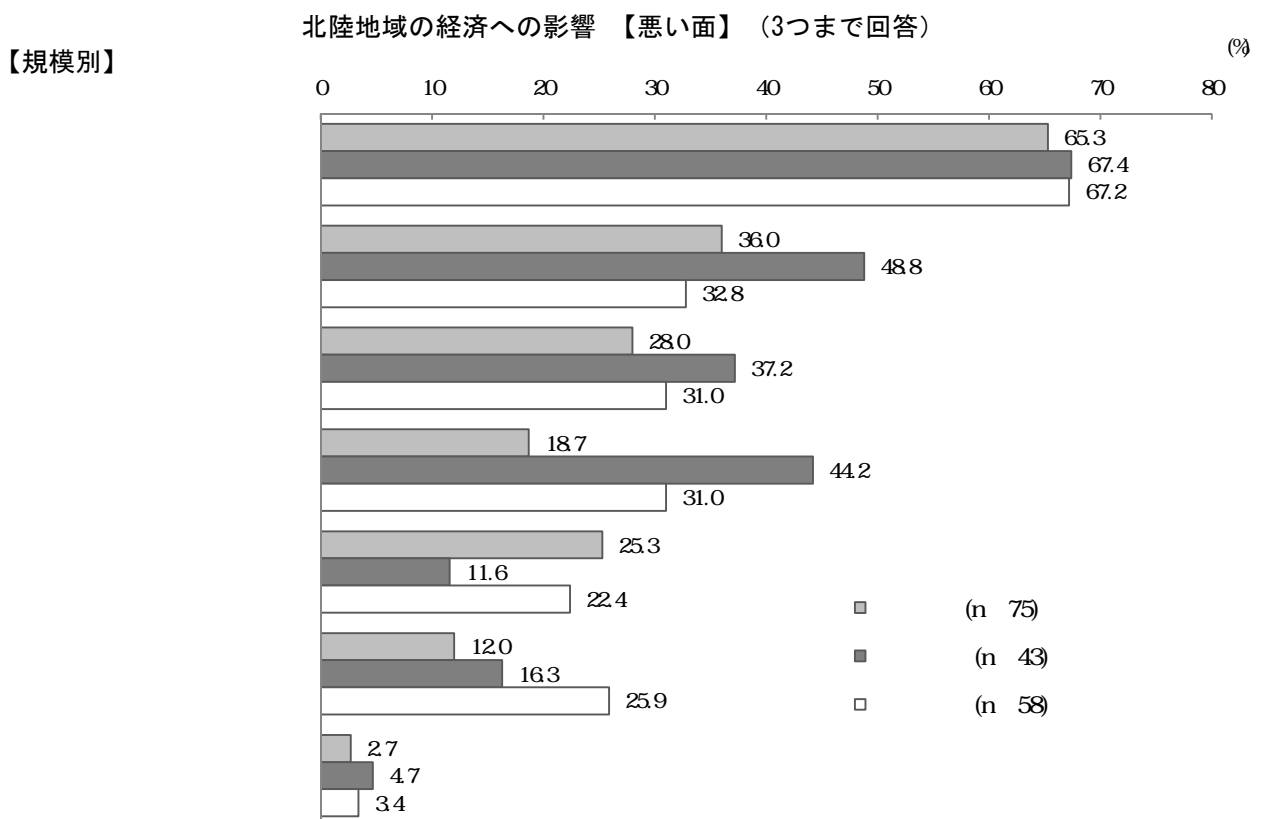
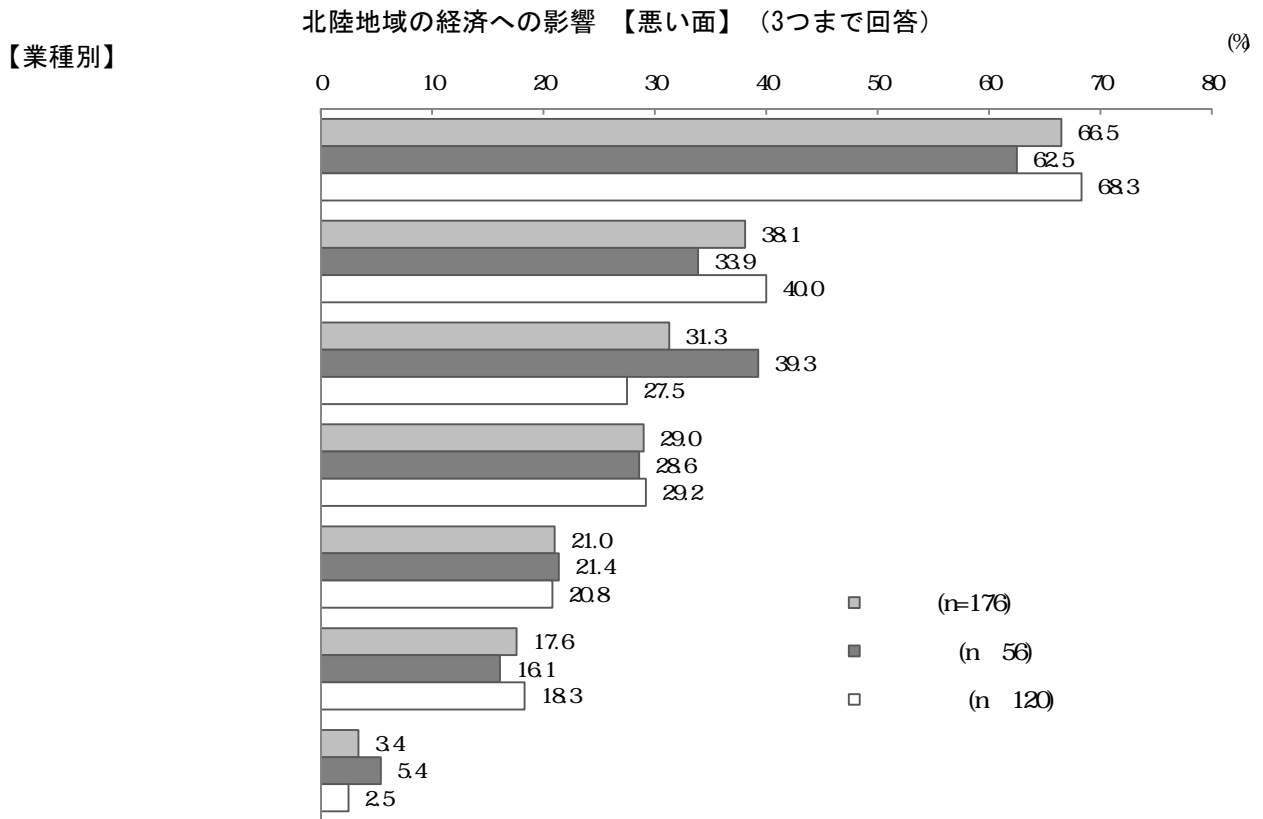
Q.1で「ある」「多少ある」と回答された方へ
北陸地域の経済にとってどのような影響があると思いますか。(3つまで回答可)



IV その他(北陸新幹線の金沢開業)

Q.2

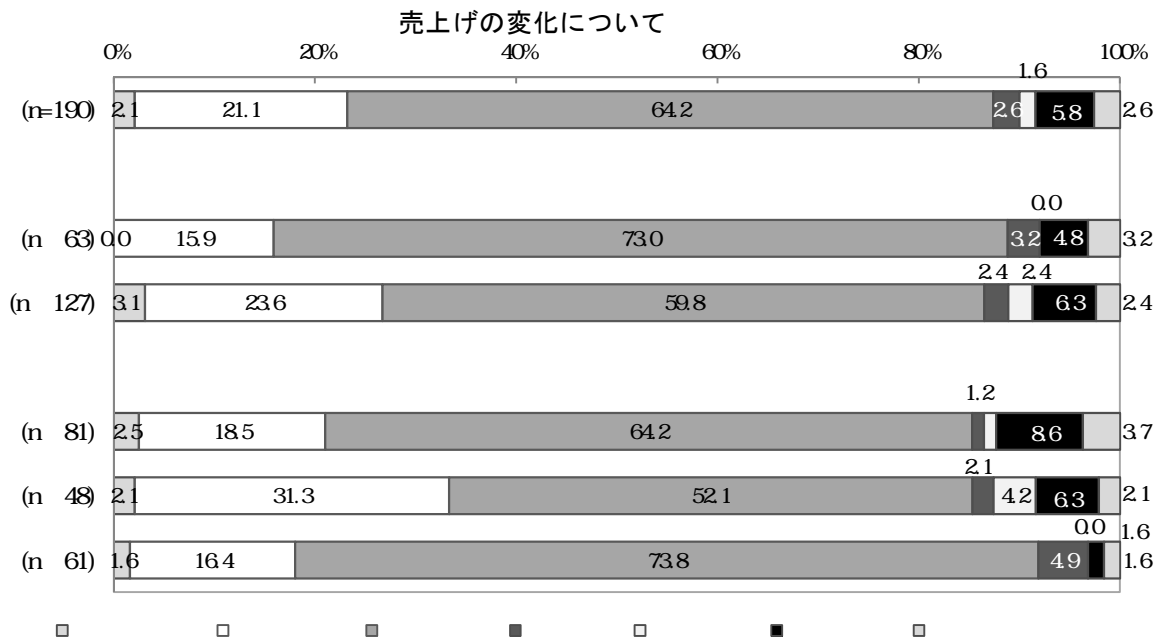
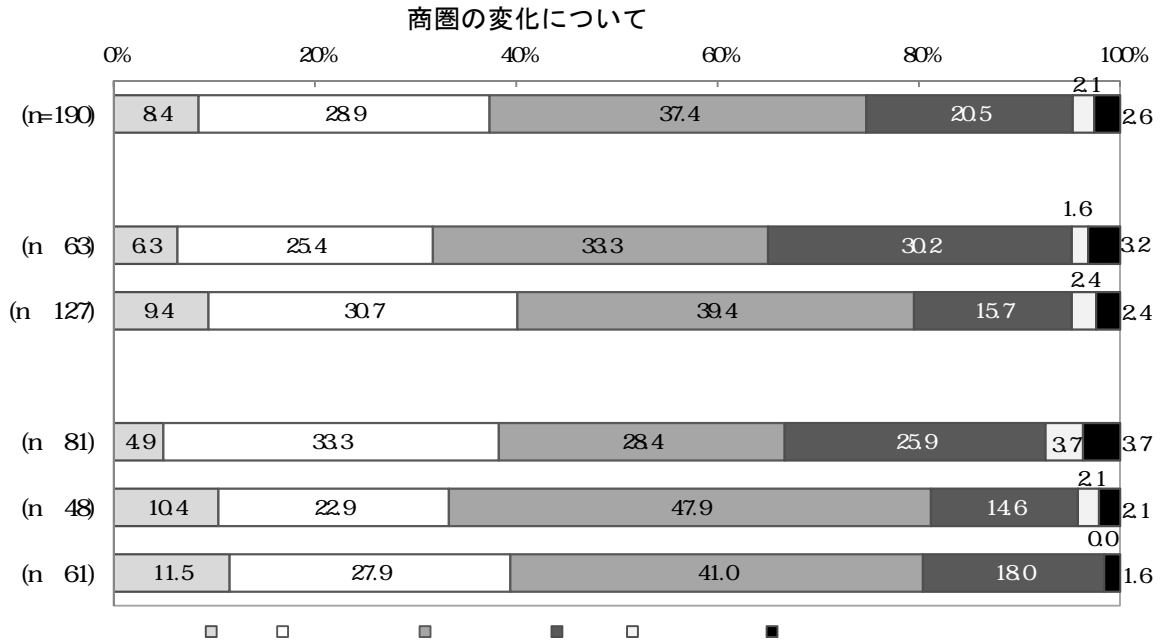
Q.1で「ある」「多少ある」と回答された方へ
北陸地域の経済にとってどのような影響があると思いますか。(3つまで回答可)



IV その他(北陸新幹線の金沢開業)

Q.3

貴社への商圈・売上げの変化はありますか。



IV その他(北陸新幹線の金沢開業)

Q.4

金沢開業まで残り1年となるなか、北陸の経済界として取り組むべき内容は何ですか。
(3つまで回答可)

